

# 自然教育園見ごろ情報

2026年3月19日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」  
をご覧ください  
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

タチツボスミレ  
の花が見頃です



## シュンラン

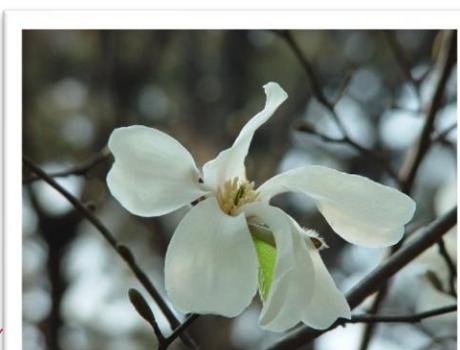
春に咲く代表的なラン、春蘭（シュンラン）。里山にも自生し花が比較的大きく、姿が美しいので観賞用に栽培されます。



武蔵野植物園や  
路傍植物園で  
見られます

## タチツボスミレ

人家近くの道端から山地まで、ごくふつうに生育するスミレです。花の色はふつう薄い青紫色ですが、色の濃淡は変化に富んでいます。



## コブシ

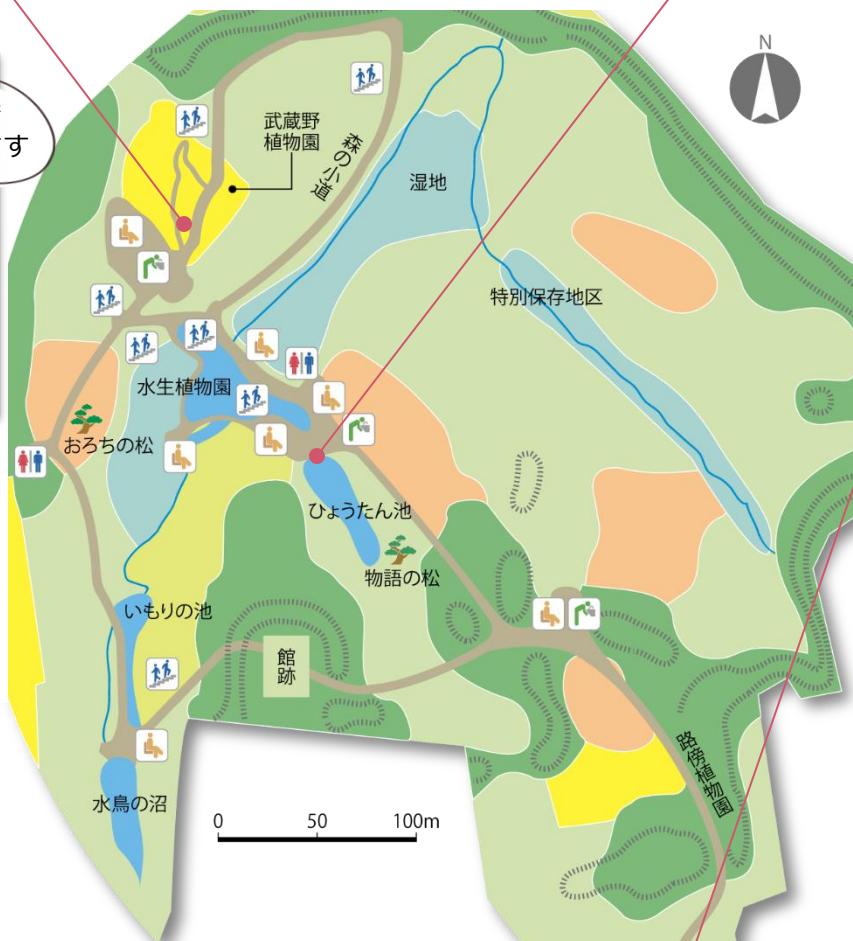
上を見上げると、大きな白い花が咲いています。コブシは、その花の開花を目安に農作業が開始されたことから、「イモウエバナ」「タウチザクラ」などの別名もあります。花の蜜を目当てに来た鳥が、花を落とすことがあります。



水辺で  
みられます

## カルガモ

街中の公園でもみられる身近なカモ。池にのんびり浮いていたり、水中に顔をつつこんで餌を探す様子などが見られます。今年も園内での繁殖が期待されます。



## ヤブレガサ(芽生え)

芽生えた時期の姿が、破れた和傘に似ていることから「破傘（やぶれがさ）」と名前がつきました。



成長した葉  
(4月)



路傍植物園や  
武蔵野植物園で  
見られます

## バイモ

ユリの仲間で、原産地は中国。薬用の植物として有名で、乾燥させた鱗茎は「貝母（バイモ）」とよばれ、咳止めや止血などに効果があるとされています。観賞用によく栽培されます。別名は「アミガサユリ」で、花の内側に網目状の模様があることによります。



## キブシ

穂状にぶら下がった淡黄色の花がよく目立ちます。昔は、髓を灯心（あんどんなどの芯）に、果実に含まれるタンニンをお歯黒に用いたと言われています。



## ウグイスカグラ

ピンク色の花が咲いています。花の付き方がユニークで、小さなラッパが枝にぶらさがっているようにも見えます。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園